



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月12日

上場会社名 中央紙器工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3952 URL http://www.mcpack.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 前 賢太 TEL 052-400-2800
 定時株主総会開催予定日 2022年6月23日 配当支払開始予定日 2022年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	11,047	19.6	713	327.1	784	226.5	536	213.3
2021年3月期	9,239	△11.7	167	△74.0	240	△67.6	171	△65.1

(注) 包括利益 2022年3月期 687百万円 (96.9%) 2021年3月期 348百万円 (18.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	107.92	—	4.4	5.5	6.5
2021年3月期	34.44	—	1.4	1.7	1.8

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 2百万円 2021年3月期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	14,787	12,472	84.3	2,511.05
2021年3月期	13,986	11,983	85.7	2,412.71

(参考) 自己資本 2022年3月期 12,472百万円 2021年3月期 11,983百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,002	△150	△198	8,718
2021年3月期	322	△210	△204	8,061

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	198	116.1	1.7
2022年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00	248	46.3	2.0
2023年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00		45.2	

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	5,283	△1.0	324	△8.5	364	△7.3	242	△9.6	48.74
通期	11,000	△0.4	760	6.5	830	5.8	550	2.6	110.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2022年3月期	5,225,008株	2021年3月期	5,225,008株
2022年3月期	258,048株	2021年3月期	258,048株
2022年3月期	4,966,960株	2021年3月期	4,966,982株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	11,010	19.6	640	345.1	732	90.0	508	63.1
2021年3月期	9,204	△11.7	143	△75.9	385	△47.8	311	△40.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	102.40	—
2021年3月期	62.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	13,776	11,533	83.7	2,322.07
2021年3月期	13,015	11,079	85.1	2,230.61

(参考) 自己資本 2022年3月期 11,533百万円 2021年3月期 11,079百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算)	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
(6) 会計方針の変更	11
(7) セグメント情報	11
(8) 1株当たり情報	12
(9) 重要な後発事象	12
4. 役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が全国各地で度々発出された影響で、景気の落ち込みと持ち直しを繰り返しました。加えて、原材料価格の高騰、地政学的リスク増大を主因とした原燃料やエネルギー価格、輸送費の上昇等、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、国内の段ボール生産量については、巣籠り需要により、通販関連や加工食品向けが堅調であったことに加えて、当社グループの主要ユーザーである自動車関連分野をはじめ電気・機械分野も一部で半導体不足による供給制約の影響があるものの、総じて前年を上回る状況となりました。

こうした状況下、当社グループは感染症防止対策の全社活動を緩めることなく、ニューノーマルな職場環境づくりと需要変動に即応した生産体制の強化に取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、自動車関連の特需を中心に需要が回復基調で推移したこと、及び固定費削減等を中心とした原価低減活動の成果により、売上・利益とも業績予想を上回る結果となりました。

以上により、当連結会計年度における業績は、売上高110億47百万円（前期比19.6%増）、営業利益7億13百万円（前期比327.1%増）、経常利益7億84百万円（前期比226.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億36百万円（前期比213.3%増）となりました。

また、当社の業績につきましては、売上高110億10百万円（前期比19.6%増）、営業利益6億40百万円（前期比345.1%増）、経常利益7億32百万円（前期比90.0%増）、当期純利益5億8百万円（前期比63.1%増）となりました。

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は115億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が6億57百万円、売掛金が42百万円増加したことによるものであります。固定資産は32億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1億91百万円増加、繰延税金資産が46百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、147億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は15億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億77百万円増加いたしました。固定負債は7億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、23億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は124億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益5億36百万円及び剰余金の配当1億98百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億44百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率84.3%（前連結会計年度末は85.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益7億81百万円を計上し、法人税等の支払額1億37百万円、有形固定資産の取得による支出1億60百万円、配当金の支払額1億98百万円等により、当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べ6億57百万円増加し、87億18百万円（前期末比8.2%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は10億2百万円（前期比210.7%増）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益7億81百万円、減価償却費2億17百万円及び法人税等の支払額1億37百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億50百万円（前期比28.6%減）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1億60百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億98百万円（前期比2.7%減）となりました。これは、配当金の支払額1億98百万円によるものです。

なお、当社グループの運転資金及び設備投資資金は、主として内部資金により充当し、必要に応じて借入による資金調達を実施することを基本方針としており、当連結会計年度における設備投資資金については、内部資金により充ていたしました。

当社グループは、今後も営業活動により得られるキャッシュ・フローを基本に将来必要な運転資金及び設備投資資金を調達していく考えです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響や世界情勢の不安を背景に、現在の不安定な状況が継続していくことが予想されます。

このような事業環境の中、当社グループはコロナ禍での供給制約、需要変動等への確実な生産対応を行うとともに、原燃料等の価格高騰化に対して、原価低減活動による収益向上を進めてまいります。更に、2025年ビジョンへの挑戦を続けながら、新たにSDGs・カーボンニュートラルへの環境対応とDX（デジタルトランスフォーメーション）への推進体制を強化し、グループ一丸となって企業価値の向上と持続的な成長に取り組んでまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,061,740	8,718,776
受取手形	32,663	38,762
売掛金	1,986,904	2,029,523
電子記録債権	556,848	547,840
商品及び製品	128,444	134,488
仕掛品	11,821	13,085
原材料及び貯蔵品	59,429	70,261
その他	12,768	9,084
貸倒引当金	△255	△258
流動資産合計	10,850,364	11,561,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,105,734	3,151,339
減価償却累計額	△2,436,052	△2,504,834
建物及び構築物 (純額)	669,682	646,505
機械装置及び運搬具	3,401,306	3,384,977
減価償却累計額	△3,020,738	△3,067,376
機械装置及び運搬具 (純額)	380,567	317,600
土地	653,489	653,489
建設仮勘定	487	25,250
その他	534,611	534,686
減価償却累計額	△477,554	△476,687
その他 (純額)	57,057	57,999
有形固定資産合計	1,761,284	1,700,845
無形固定資産		
その他	27,577	42,058
無形固定資産合計	27,577	42,058
投資その他の資産		
投資有価証券	1,134,748	1,326,574
繰延税金資産	74,871	28,011
その他	142,460	134,097
貸倒引当金	△5,240	△5,240
投資その他の資産合計	1,346,840	1,483,443
固定資産合計	3,135,702	3,226,347
資産合計	13,986,067	14,787,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	723,234	764,692
未払法人税等	110,637	245,990
未払消費税等	26,361	88,351
賞与引当金	125,333	139,136
役員賞与引当金	28,160	33,657
その他	277,455	297,050
流動負債合計	1,291,182	1,568,877
固定負債		
役員退職慰労引当金	74,440	92,120
退職給付に係る負債	583,937	601,325
その他	52,688	53,309
固定負債合計	711,065	746,754
負債合計	2,002,247	2,315,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	9,476,921	9,814,289
自己株式	△72,168	△72,168
株主資本合計	11,463,209	11,800,577
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540,421	684,768
為替換算調整勘定	△19,812	△13,066
その他の包括利益累計額合計	520,609	671,701
純資産合計	11,983,819	12,472,279
負債純資産合計	13,986,067	14,787,911

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	9,239,560	11,047,724
売上原価	6,959,685	8,131,852
売上総利益	2,279,875	2,915,871
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	604,812	709,722
給料手当及び賞与	703,336	689,969
賞与引当金繰入額	76,092	81,046
役員賞与引当金繰入額	28,159	33,657
退職給付費用	32,237	31,037
役員退職慰労引当金繰入額	18,040	18,650
法定福利費	120,531	116,359
福利厚生費	26,089	22,252
賃借料	89,232	88,301
交際費	3,789	7,045
租税公課	39,487	43,161
減価償却費	63,385	60,725
修繕費	64,545	54,261
その他	243,067	246,122
販売費及び一般管理費合計	2,112,806	2,202,310
営業利益	167,068	713,560
営業外収益		
受取利息	488	419
受取配当金	38,573	47,645
持分法による投資利益	4,118	2,382
仕入割引	8,485	8,317
受取賄費	7,469	—
その他	15,326	11,982
営業外収益合計	74,461	70,747
営業外費用		
売上割引	262	—
有価証券評価損	638	—
その他	447	—
営業外費用合計	1,348	—
経常利益	240,182	784,308
特別利益		
持分変動利益	11,971	—
特別利益合計	11,971	—
特別損失		
減損損失	—	3,133
特別損失合計	—	3,133
税金等調整前当期純利益	252,153	781,175
法人税、住民税及び事業税	100,027	267,531
法人税等調整額	△18,953	△22,402
法人税等合計	81,074	245,128
当期純利益	171,079	536,046
親会社株主に帰属する当期純利益	171,079	536,046

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	171,079	536,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207,906	144,346
為替換算調整勘定	△8,078	4,777
持分法適用会社に対する持分相当額	△21,928	1,968
その他の包括利益合計	177,899	151,092
包括利益	348,978	687,138
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	348,978	687,138

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,077,895	980,562	9,510,737	△72,141	11,497,052
当期変動額					
剰余金の配当			△198,679		△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益			171,079		171,079
持分法適用除外会社の減少に伴う利益剰余金減少高			△6,215		△6,215
自己株式の取得				△27	△27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△33,815	△27	△33,843
当期末残高	1,077,895	980,562	9,476,921	△72,168	11,463,209

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	332,514	10,195	342,710	11,839,762
当期変動額				
剰余金の配当				△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益				171,079
持分法適用除外会社の減少に伴う利益剰余金減少高				△6,215
自己株式の取得				△27
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	207,906	△30,007	177,899	177,899
当期変動額合計	207,906	△30,007	177,899	144,056
当期末残高	540,421	△19,812	520,609	11,983,819

当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,077,895	980,562	9,476,921	△72,168	11,463,209
当期変動額					
剰余金の配当			△198,678		△198,678
親会社株主に帰属する当期純利益			536,046		536,046
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	337,368	—	337,368
当期末残高	1,077,895	980,562	9,814,289	△72,168	11,800,577

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	540,421	△19,812	520,609	11,983,819
当期変動額				
剰余金の配当				△198,678
親会社株主に帰属する当期純利益				536,046
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	144,346	6,745	151,092	151,092
当期変動額合計	144,346	6,745	151,092	488,460
当期末残高	684,768	△13,066	671,701	12,472,279

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	252,153	781,175
減価償却費	233,190	217,583
減損損失	—	3,133
持分変動損益 (△は益)	△11,971	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12,060	17,680
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,779	17,387
受取利息及び受取配当金	△39,061	△48,065
為替差損益 (△は益)	△1,339	—
持分法による投資損益 (△は益)	△4,118	△2,382
投資有価証券評価損益 (△は益)	638	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△142,516	△39,710
棚卸資産の増減額 (△は増加)	20,031	△18,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	46,167	41,458
その他	3,166	121,479
小計	369,058	1,091,598
利息及び配当金の受取額	41,666	48,065
法人税等の支払額	△88,075	△137,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,650	1,002,534
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△186,661	△160,440
投資有価証券の取得による支出	△2,954	△4,003
貸付金の回収による収入	8,565	7,508
関係会社株式の売却による収入	—	31,797
その他	△29,201	△25,023
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,252	△150,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△198,700	△198,636
その他	△5,393	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,093	△198,636
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,508	3,301
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△99,203	657,036
現金及び現金同等物の期首残高	8,160,943	8,061,740
現金及び現金同等物の期末残高	8,061,740	8,718,776

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。そして、従来、販売費及び一般管理費として計上していた一部の費用について、当連結会計年度より顧客に支払われる対価として、売上高から減額しております。また、従来、営業外費用として計上していた売上割引は、当連結会計年度より変動対価として、売上高から減額しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当連結会計年度の売上高、販売費及び一般管理費、営業利益、営業外費用に与える影響は軽微であり、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(7) セグメント情報等

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(8) 1株当たり情報

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	2,412円70銭	2,511円05銭
1株当たり当期純利益	34円44銭	107円92銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,983,819	12,472,279
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,983,819	12,472,279
普通株式の期末株式数(株)	4,966,960	4,966,960

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	171,079	536,046
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(千円)	171,079	536,046
普通株式の期中平均株式数(株)	4,966,982	4,966,960

(9) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 役員の異動 (2022 年 6 月 23 日予定)

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動

① 新任取締役候補

取 締 役	すぎうら 杉 浦	ひでし 英 志	(現 調達部長・商品開発部長)
-------	-------------	------------	-----------------

② 新任監査役候補

常 勤 監 査 役	いとう 伊 東	としき 俊 樹	(現 SDGs・CN 推進グループ 主査)
-----------	------------	------------	-----------------------

③ 退任予定監査役

常 勤 監 査 役	たじま 田 島	のぶゆき 信 之	
-----------	------------	-------------	--

以 上

2022年3月期 決算概要

1. 当期（2022年3月期）の連結業績

連結経営成績・・・今決算は増収増益

（単位：百万円）

	当 期 2022年3月期 (第71期)		前 期 2021年3月期 (第70期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売 上 高	11,047	100.0%	9,239	100.0%	1,808	19.6%
営 業 利 益	713	6.5%	167	1.8%	546	327.1%
経 常 利 益	784	7.1%	240	2.6%	544	226.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	536	4.9%	171	1.9%	364	213.3%
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	107.92 円		34.44 円		73.48 円	

連結決算対象会社		
・子会社	4 社	(中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、 香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK (MALAYSIA) SDN. BHD.)
・持分法適用会社	1 社	(MC PACK (MALAYSIA) SDN. BHD.)
・売上高の連単倍率	1.00 倍	

(新規顧客獲得 27 社 51 百万円)

・業種別販売状況

（単位：百万円）

	当 期 2022年3月期		前 期 2021年3月期		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自 動 車 関 係	7,775	70.4%	6,212	67.3%	1,562	25.2%
電 気 機 械 関 係	1,854	16.8%	1,733	18.8%	120	7.0%
食 品 関 係	231	2.1%	245	2.7%	△13	△5.5%
そ の 他	1,186	10.7%	1,047	11.3%	138	13.2%
合 計	11,047	100.0%	9,239	100.0%	1,808	19.6%

・品目別販売状況

（単位：百万円）

	当 期 2022年3月期		前 期 2021年3月期		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段 ボ ー ル 製 品	8,576	77.6%	7,071	76.5%	1,504	21.3%
(段ボールケースほか)	(8,383)	(75.9%)	(6,877)	(74.4%)	(1,505)	(21.9%)
(三層段ボールケースほか)	(192)	(1.7%)	(193)	(2.2%)	(0)	(△0.3%)
その他 (化成品ほか)	2,471	22.4%	2,168	23.5%	303	14.0%
合 計	11,047	100.0%	9,239	100.0%	1,808	19.6%

《増収要因》 自動車関連の特需を中心に需要が回復基調で推移したことから、増収となった。

《対前期営業利益の増減要因》

増 益 要 因	580 百万円
①物量増による効果		
②収益改善による効果		
減 益 要 因	△34 百万円
①固定費の増加		
営 業 利 益		546 百万円の増

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2022年3月期	14,787	12,472	84.3	2,511.05
2021年3月期	13,986	11,983	85.7	2,412.71

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,002	△150	△198	8,718
2021年3月期	322	△210	△204	8,061

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	20.00	30.00	50.00	248	46.3	2.0
2021年3月期	20.00	20.00	40.00	198	116.1	1.7
2023年3月期 (予想)	25.00	25.00	50.00		45.2	

3. 次期(2023年3月期)連結業績予想

〔第2四半期連結累計期間〕

(単位:百万円)

	次期第2四半期累計期間		当期第2四半期累計期間		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	5,283	100.0%	5,336	100.0%	△52	△1.0%
営業利益	324	6.1%	354	6.6%	△29	△8.5%
経常利益	364	6.9%	393	7.4%	△28	△7.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	242	4.6%	267	5.0%	△25	△9.6%
1株当たり 四半期純利益	48.74 円		53.91 円		△5.17 円	

〔通期〕

(単位:百万円)

	次期通期		当期通期		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売上高	11,000	100.0%	11,047	100.0%	△47	△0.4%
営業利益	760	6.9%	713	6.5%	46	6.5%
経常利益	830	7.5%	784	7.1%	45	5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	550	5.0%	536	4.9%	13	2.6%
1株当たり 当期純利益	110.73 円		107.92 円		2.81 円	

〔業種別販売予想(通期)〕

(単位:百万円)

	次期通期		当期通期		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	7,473	68.0%	7,775	70.4%	△301	△3.9%
電気機械関係	1,936	17.6%	1,854	16.8%	82	4.4%
食品関係	226	2.1%	231	2.1%	△5	△2.5%
その他	1,363	12.4%	1,186	10.7%	177	15.0%
合計	11,000	100.0%	11,047	100.0%	△47	△0.4%